

令和にはじめる万葉集



今春、万葉集が注目を集めました。千二百年以上昔の言葉がいまだ色あせず、時代を超えて共感されるのはなぜなのか？
いつまでもみずみずしい言葉の秘密を探るための文学講座がはじまります。

【第1回】2019年11月17日(日)

「万葉集の遠さと近さ」 万葉集をはじめるとあって

【第2回】2019年12月21日(土)

「京都と万葉集」 京都府内の故地、南山城～宇治～山科、巨椋池等

【第3回】2020年1月19日(日)

「ぬかたのおおきみ額田王」 齐明天皇や天智天皇、大海人皇子と関わって

【第4回】2020年2月16日(日)

「おほとものやかもち大伴家持の歌と政争」 家持の歌を当時の政治状況とともに

各日：14:00～15:30

場 所：長岡京市中央生涯学習センター
-6階・創作室1

定 員：40名(先着、事前申込み)
料 金：2000円(4回分、資料代含む)

持 ち 物：筆記用具

講 師：垣見修司先生(同志社大学文学部教授)

【申込み受付】10月2日(水)10:30～

お電話・FAX・1階窓口にて